

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC230	科目名	介護の基本Ⅳ	担当者名	渡部 誠
授業の概要	これまでの学習内容を踏まえ、介護サービスの内容を総合的に理解する。その方法として、実習での実践事例などを用いながら学習テーマごとに掘り下げて理解を深める。また、過去の国家試験問題等を用いて習熟度の確認や総合的な復習も行う。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の原理原則と基礎知識を踏まえつつ、柔軟な応用力と高度な個別介護の実践力を身につける。 ・介護に関する最新の知見や研究成果を吸収し、高度な専門性を身につける。 ・専門職としての職業倫理を内面化し、他職種との連携・協働ができる知識と能力を身につける。 ・上記を通じ、介護福祉士としての総合的な実践力を身につけることを科目の到達目標とする。 				
DPの観点	②専門知識・技能 ⑤コミュニケーション能力 ⑥幅広い教養 ⑩論理的思考力				
授業時間外学修(予習・復習)	各自でこれまでの学習内容を総点検し、遺漏点や補完すべき事柄を確認しておく。特に変更の生じやすい制度面については、最新の情報を収集して授業に臨む。ノートの整理など授業ごとの復習も丁寧に行う。予習・復習は、それぞれ最低1時間以上行う。				
フィードバックの方法	学びの中の疑問をクラスで共有し、対話を通じて解決しながら授業を進行する。課題等に関しては、その後の学びにつながるよう、助言を付して返却する。出席表のメモ欄をフィードバックと学習支援に活用する。				
単位認定の要件	15回の授業終了後に行う期末試験の成績と、授業中の勉学意欲及び学習態度を単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合(%)	期末試験(80%)、勉学意欲及び学習態度(20%)				
履修上の注意事項	授業の進行に沿って適宜伝達する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			【授業概要の説明と既習内容の確認】 授業の概要を確認し、既習の専門知識を点検・確認する。	⑤⑩	コミュニケーションカード
2			【介護の基本(1)】 介護の目的と基本原則を理解する。	②⑥⑩	コミュニケーションカード
3			【介護の基本(2)】 介護従事者(専門職)の職業倫理を理解する。	②⑥⑩	コミュニケーションカード
4			【利用者の理解】 障害の種類と特徴及び利用者の生活と課題を理解する。	②⑥⑩	コミュニケーションカード
5			【介護過程の展開(1)】 障害者や高齢者を対象とした介護過程の基本を理解する。	②⑥⑩	コミュニケーションカード
6			【介護過程の展開(2)】 介護過程の実践手法と困難事例への対応の仕方を習得する。	②⑥⑩	コミュニケーションカード
7			【介護技法の基本(1)】 自立支援、生活環境の整備、家族への支援の仕方等を理解する。	②⑤	コミュニケーションカード
8			【介護技法の基本(2)】 入浴と保清、衣類・寝具の整え、衣類の着脱と整容等を理解する。	②⑤	コミュニケーションカード
9			【介護技法の基本(3)】 食事の介助と安楽・安寧の維持等について理解する。	②⑤	コミュニケーションカード
10			【介護技法の基本(4)】 排泄介護と移動の介護、その他のADL介護について理解する。	②⑤	コミュニケーションカード
11			【介護技法の基本(5)】 介護におけるIADLの自立とICFの視点について理解する。	②⑤	コミュニケーションカード
12			【医療との連携(1)】 医療・看護対応時の介護と救急・事故時の対応について理解する。	②⑥⑩	コミュニケーションカード
13			【医療との連携(2)】 終末期の介護と看取り介護について理解を深める。	②⑥⑩	コミュニケーションカード
14			【介護関係維持のための技法】 観察の技法とコミュニケーション技法を習得する。	②⑥⑩	コミュニケーションカード
15			【まとめ】 疑問点を解決し、学習した内容を総合的にまとめる。	②⑩	コミュニケーションカード
期末試験			期末試験を実施する		

使用テキスト	『新・介護福祉士養成講座 第3巻 介護の基本Ⅰ』 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版
参考文献 参考URL	『脳からみた認知症』 伊古田俊夫 講談社、『ユマニチュード入門』 イヴ・ジネストほか 医学書院、そのほか授業内で適宜提示する。
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--